

# 常任委員会レポート

平成21年度一般会計・特別会計の補正予算などの議案を各常任委員会で審査しました。

## 総務文教委員会

**Q** 11月から自主運行バスの新ダイヤでの運行が始まったが、実証期間の中で運行ルートを変更する場合、予算の範囲内で賄うことができるのか。

**A** 金額が変わるような大きなルート変更は考えていない。利便性の確保、危険回避をするための変更は可能な限り対応していきたい。

**Q** 来年度から、軽自動車税がコンビニエンスストアでも納めることができるようになるが、市外でも納めることができるのか。また、他の料金等についてはどのような予定になっているのか。

**A** コンビニエンスストアでの収納は、この事務を代行する業者と委託契約をして進める。この代行業者と提携しているところであれば全国どこからでも納めることができる。他の料金等のコンビニ収納については、水道関係は平成22年度中に、市税等は平成23年度からを考えている。介護保険料などは、それ以降に検討することとなっている。

## 民生福祉委員会

**Q** 生活保護世帯の推移、他市との比較、保護世帯全体に占める外国人世帯の割合など、本市の置かれている状況はどうか。

**A** 生活保護世帯は、下記のとおり本年度になり急激に増加している。

17年度末：87世帯 123人 1.48%  
18年度末：83世帯 116人 1.39%  
19年度末：97世帯 130人 1.53%  
20年度末：102世帯 141人 1.65%  
21年度：127世帯 180人 2.10%  
(10月末現在)

%(パーミル):1,000人当たり何人が生活保護を受けているかを示している率。

→ また、磐田市・掛川市との比較は、若干の差はあるがほぼ同程度である。外国人世帯の割合は、4月時点では104世帯中2世帯であったが、10月末には127世帯中12世帯となっている。

**Q** 緊急経済対策として、経済的に困窮した方に対し、市営住宅等を提供するなどしたが、その後の就職等、自立状況はどうか。

**A** 県西部地域の雇用情勢は大変厳しく、アルバイト的な雇用はあるが、長期にわたる雇用は少ない状況である。今回の補正予算で実施する住宅手当は、半年間の期限となっている。期間内に就職できるよう、ハローワークとともに支援していきたい。

## 建設経済委員会

**Q** (財)日本容器包装リサイクル協会からの再商品化合理化拠出金とは、どのようなものか。

**A** (財)日本容器包装リサイクル協会は、全国の自治体などから排出される容器包装ごみやペットボトルを再資源化する業務などを行っている組織であり、企業や自治体からの委託金により運営している。今回、リサイクル処理に関わる事業費に余剰金が生じたため、一定の品質基準を超えた自治体に拠出金が支払われた。

**Q** 袋井市屋外広告物条例の制定について、袋井市の独自色を出している部分があるのか。

**A** 市内の特徴的な風景としての「農の風景」を保全するため、郊外の主要幹線道路の沿道地区において、規制区域を拡大したいと考えている。また、特別規制地域における袋井市文化財保護条例や景観法の中で、景観重要建造物や景観重要樹木などとの関わりを持たせている。